

令和6年度 飛騨市こども世論調査 調査結果報告書

令和7年2月実施

飛 騨 市

目 次

I 調査概要	1
1. 1 調査の目的	1
1. 2 調査項目	1
1. 3 調査の設計	1
1. 4 回収結果	1
1. 5 報告書の注意点	1
1. 6 対象者の属性	2
II 調査結果	3
問1 あなたは、自分が住んでいる町（古川町・河合町・宮川町・神岡町）が好き ですか。	3
問2 自分が住んでいる町の好きなところ、きれいなところ	3
問3 自分が住んでいる町が「こうなったら良いなあ」とか「これがあるとうれし いなあ」と思うこと	6
問4 学校で「こうなったら良いなあ」とか「これがあるとうれしいなあ」と思う こと	7
問5 市長にお願いしたいことや伝えたいこと	8
1. 7 調査結果の活用	8
III 資料	9

I 調査概要

1. 1 調査の目的

市では、16 歳以上の市民 2,000 人を対象に「飛騨市市政世論調査」を毎年実施していますが、これまで 15 歳以下の子どもたちの意見や想いを十分に反映する機会がありませんでした。

そこで今回、15 歳以下の子どもたちを対象に「飛騨市こども世論調査」を実施し、子どもたちの意見を市政に反映するための基礎資料として収集することを目的としています。

1. 2 調査項目

- (1) 自分が住む町への愛着について
- (2) 自分の住む町・学校への要望について
- (3) 市長への要望について

1. 3 調査の設計

- (1) 調査地域 市内小中学生
- (2) 調査対象 小学4年生～中学3年生
- (3) 標本数 1,002 人
- (4) 調査方法 主に学校内でのオンライン回答
- (5) 調査時期 令和7年2月14日～2月21日

1. 4 回収結果

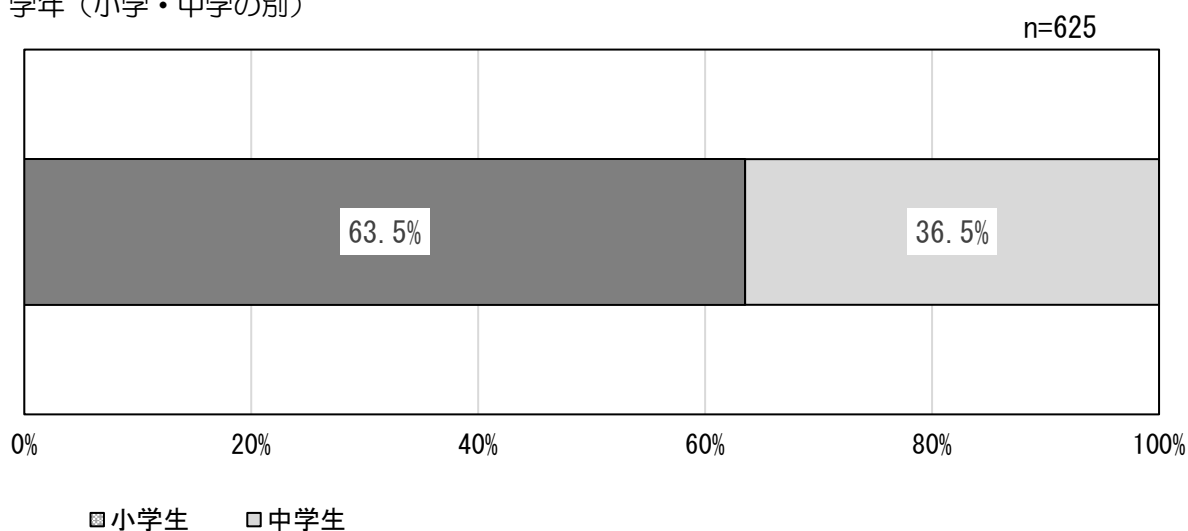
標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
1,002	667	625	66.6%	62.4%

1. 5 報告書の注意点

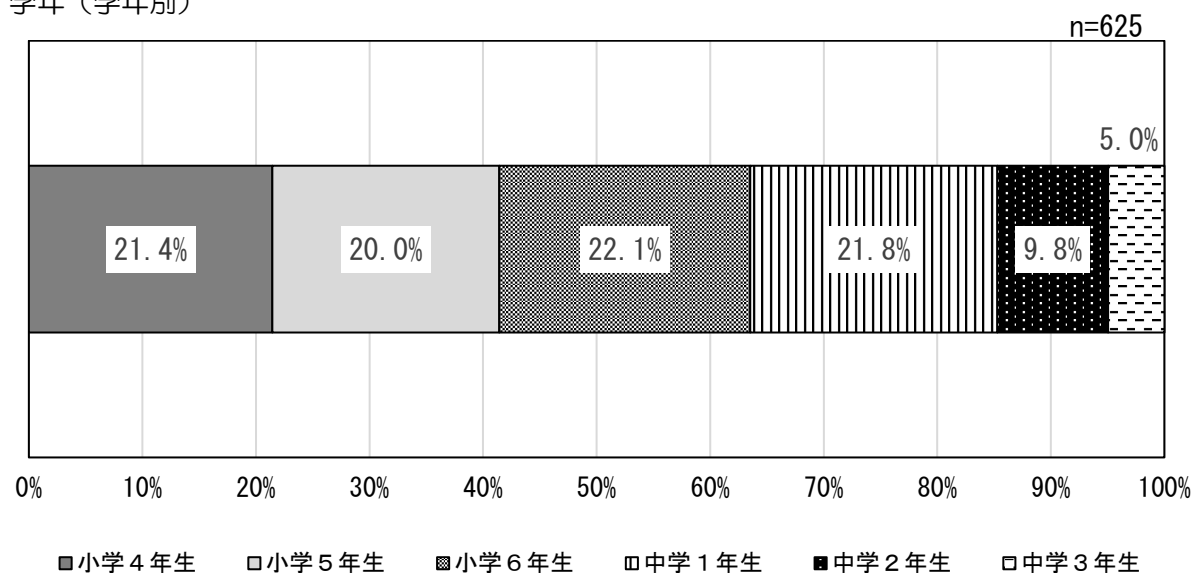
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。
- (3) 自由記載が可能な設問では、ある分類として答えた人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超えることがある。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。
- (5) 学校と学年が一致しない場合がある（中学校所属で小学6年生と答えるなど）ため、学校と学年が一致していない回答は有効とみなしていない。
- (6) 自由記載の回答は、かけ離れていない回答となるよう分類してまとめている。

1. 6 対象者の属性

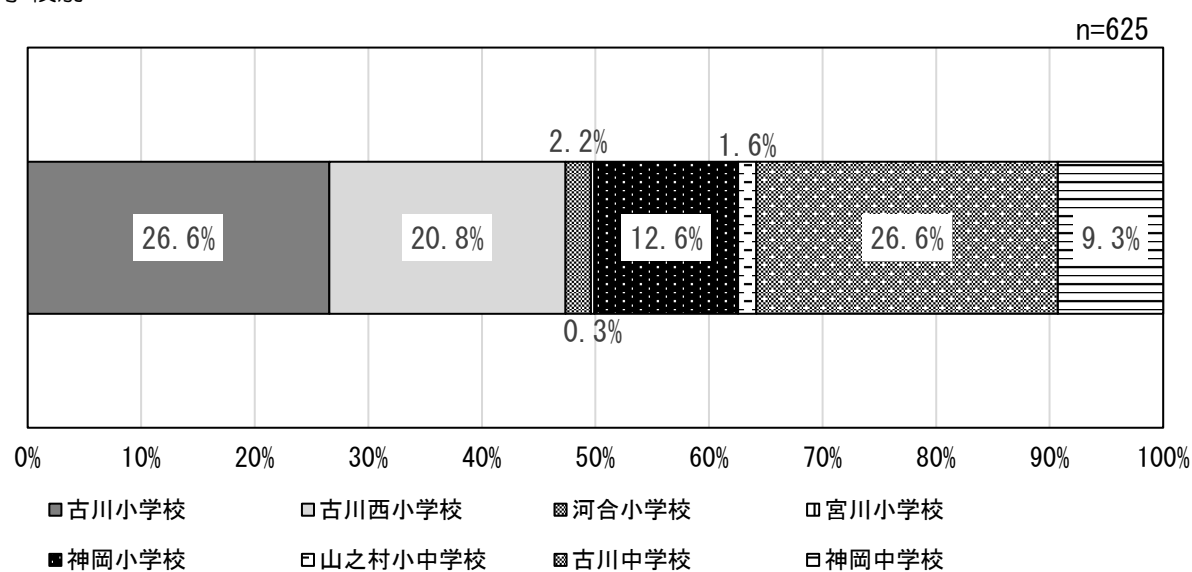
問 6 学年（小学・中学の別）



問 6 学年（学年別）



問 7 学校別



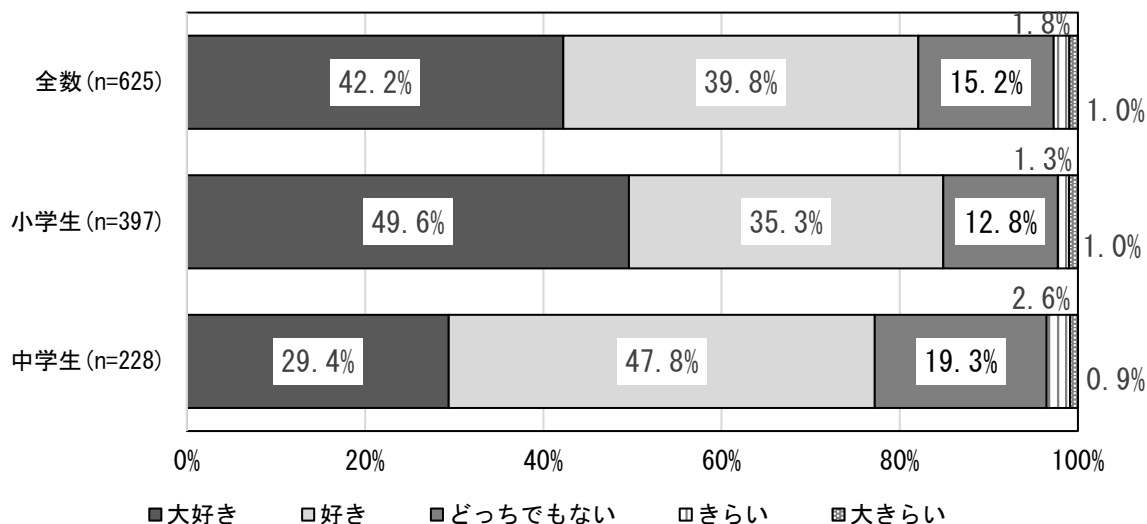
Ⅱ 調査結果

問1 あなたは、自分が住んでいる町（古川町・河合町・宮川町・神岡町）が好きですか。

【全体・小中比較】

全体でみると、好感を持っている「大好き」と「好き」を合わせると82.0%となり、嫌悪感を持っている「きらい」と「大きらい」の2.8%を大きく上回っている。

小中比較でみると、小学生は84.9%が住んでいる町に好感を持っているが、同一の項目で中学生では77.2%と小学生より低く、「大好き」と回答した割合も小学生より20.2ポイント下がっている。また、「きらい」と「大きらい」を合わせた生徒が3.5%と平均を上回る結果となり、年代を重ねるほど愛着が少なくなる傾向が見られる。



問2 自分が住んでいる町の好きなところ、きらいなところ

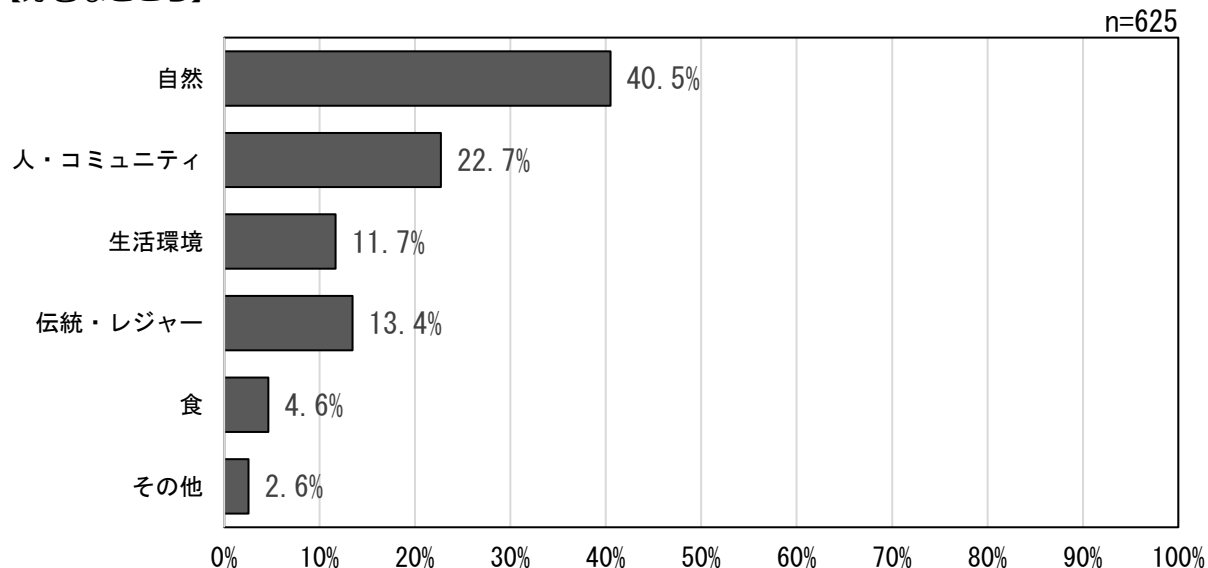
好きなところを分類すると、全体では「自然」が40.5%、次いで「人・コミュニティ」に関する内容が22.7%となっている。

「その他」の意見では、図書館について好意的な意見が多くあり、他にも魅力度ランキングや出生率など数字で他の自治体と比較できることに誇りを感じている意見もある。

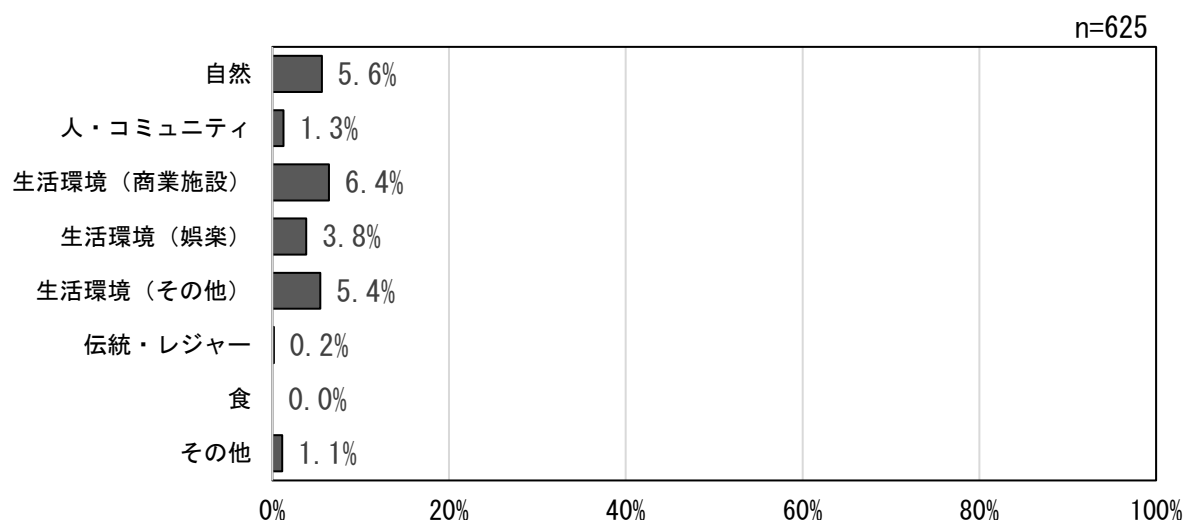
きらいなところを分類すると「商業施設」の不足などによる不満が6.4%と最も多く、次いで雪などによる「自然」が5.6%となっている。

「その他」の意見では、同年代の子どもが少ないことや市へ有名人が来ないなどの意見がある。

【好きなところ】



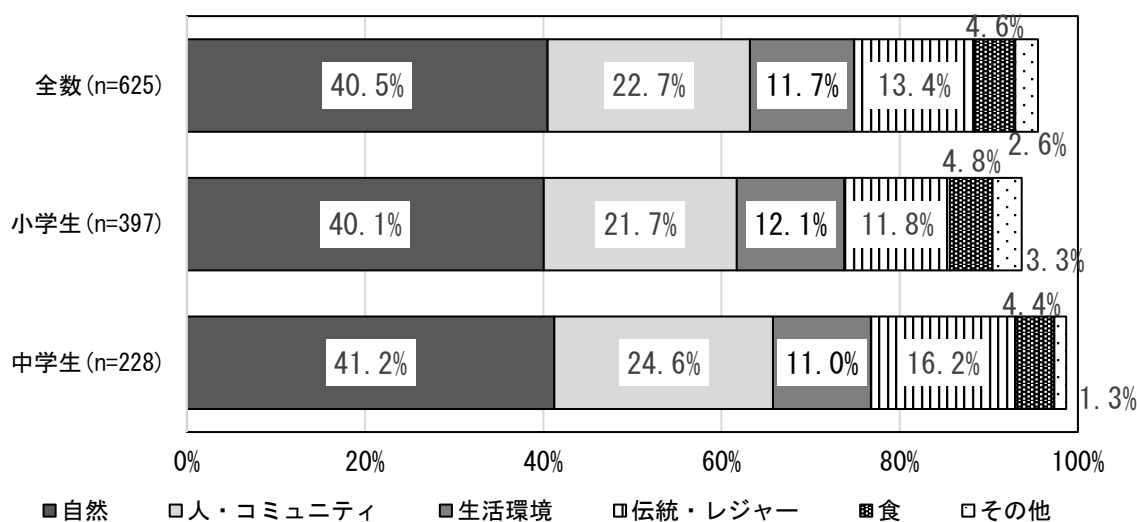
【きれいなところ】



【好きなところ（小中比較）】

小中別に住んでいる町の好きなところを比較すると、小学生では「その他」の意見が全体より多く見られた。内容としては、図書館が好きというもの、地域の特性を学校の授業に取り入れていることなどが挙げられている。

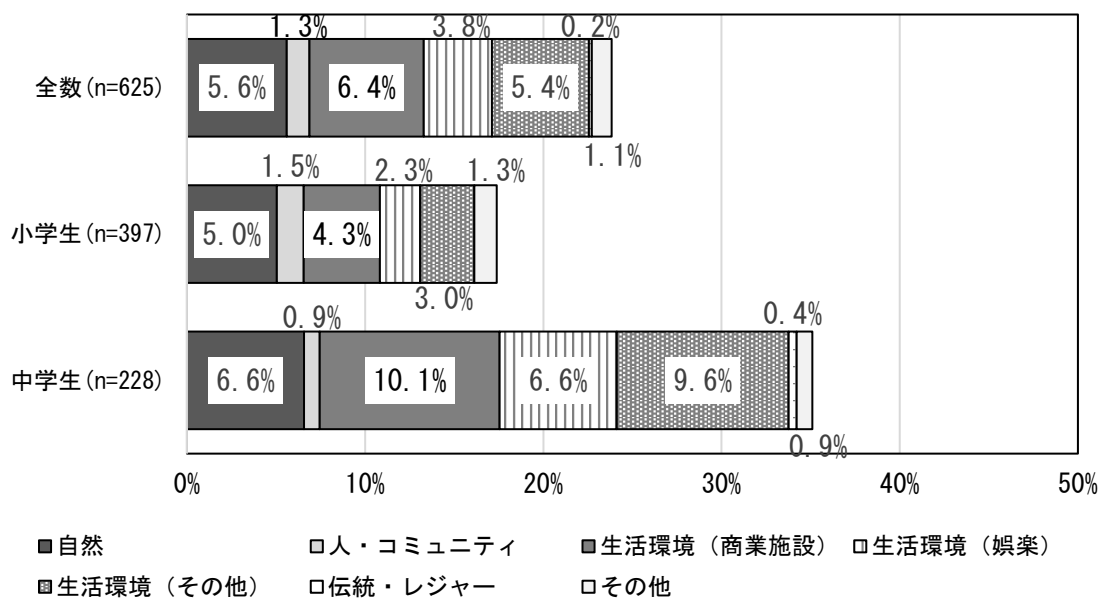
中学生では、地域の人々の優しさなどを理由に「人・コミュニティ」は2.9ポイント、地元の祭りが理由の大半を占める「伝統・レジャー」は4.4ポイント小学生より高い結果となった。「その他」の意見は小学生と同じく図書館で勉強できるところなどが挙げられている。中学生は小学生より祭りへの関りが深くなり、学校の授業で地域について学ぶ機会も増えるためか、地域の人とのつながりや祭りへの愛着が高まるものと考えられる。



【嫌いなところ（小中比較）】

小中別に住んでいる町の嫌いなところを比較すると、小学生では全体的に平均より嫌いなところが少ないが、「人・コミュニティ」についてのみ、ゴミのポイ捨てなどのマナーなどを理由に 0.6 ポイント中学生を上回っている。「その他」の意見では、有名なものがないことなどが挙げられている。

中学生では「自然」が冬の寒さや雪を理由に 1.6 ポイント、近隣の買い物できる店舗や大型商業施設がないといった「生活環境（商業施設）」が 5.8 ポイント、「生活環境（娯楽）」が 4.3 ポイント、田舎であること、同年代の子どもが地域にいないことなどを理由に「生活環境（その他）」が 6.6 ポイント小学生より上回る結果となっている。なお、「その他」の意見では、地域格差を感じるといった声があった。



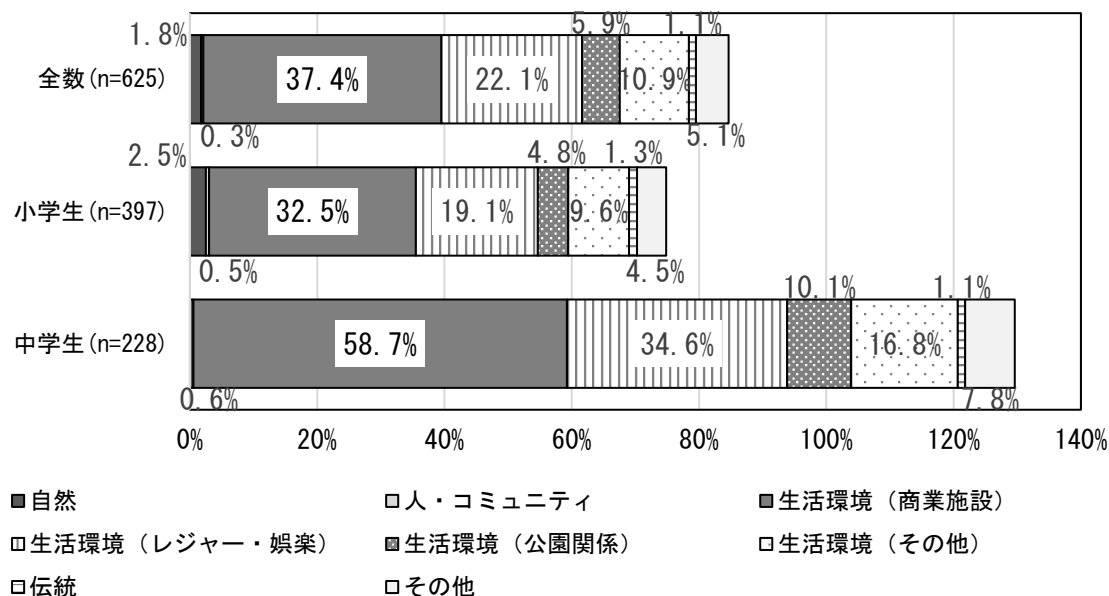
問3 自分が住んでいる町が「こうなったら良いなあ」とか「これがあるとうれしいなあ」と思うこと

【全体・小中比較】

全体でみると、「生活環境（商業施設）」が37.4%、次いで「生活環境（レジャー・環境）」に関する内容が22.1%となっており都市圏などにあるものを求めている傾向がある。

この傾向は中学生の方が小学生より高く、生活環境（商業施設）が26.2ポイント、生活環境（レジャー・娯楽）が15.5ポイント、公園が低年齢も遊べるように整備されたことで、高学年や中学生が遊べるようなバスケットボールなどのスポーツコートや公園の広さを求める生活環境（公園関係）が5.3ポイント、ゴミのポイ捨ての減少や図書館の勉強スペースの増などを希望する声がある生活環境（その他）が7.2ポイント小学生を大きく上回る結果となった。

「その他」では、このままでいい、子どもと大人の交流を増やして欲しいという声や若い人や観光客、子どもが分かる有名人がもっと来て欲しいと分かりやすい変化を求める意見がある。



問4 学校で「こうなったら良いなあ」とか「これがあるとうれしいなあ」と思うこと

【全体・小中比較】

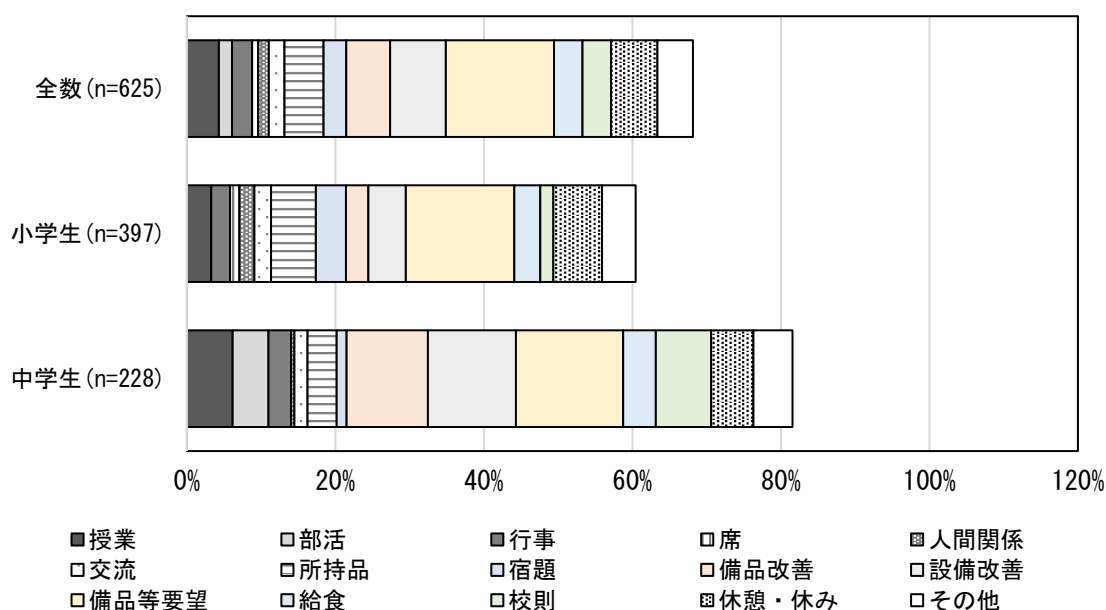
全体でみると、「備品等要望」が14.6%、次いで「設備改善」に関する内容が7.5%、「休憩・休み」6.2%、「備品改善」5.9%、「所持品」5.3%と続いている。

小中別には、小学生は多くが平均と差がないか下回っているが、「人間関係」が1.6ポイント、シャーペンを使用したいという声の多い「所持品」が2.1ポイント、「宿題」2.7ポイント中学生を上回っている。

中学生は、「席」や「人間関係」などの項目が平均を下回るが、「授業」に関して2.8ポイント、ストープや黒板、掃除道具などの「備品改善」が8.0%、エアコンやテニスコートに関することなどの「設備改善」が6.8ポイント、「校則」が5.7ポイント小学生を上回った。

「その他」はスクールバスを利用したいや学校で行われるテレビ番組に来て欲しいなどの意見が多くみられる。

	授業	部活	行事	席	人間関係	交流	所持品	宿題	備品改善	設備改善	備品等要望	給食	校則	休憩・休み	その他	計
全数 n=625	4.3 %	1.8 %	2.7 %	0.8 %	1.4 %	2.1 %	5.3 %	3.0 %	5.9 %	7.5 %	14.6 %	3.8 %	3.8 %	6.2 %	4.8 %	68.2 %
小学生 n=397	3.3 %	0.0 %	2.5 %	1.3 %	2.0 %	2.3 %	6.0 %	4.0 %	3.0 %	5.0 %	14.6 %	3.5 %	1.8 %	6.5 %	4.5 %	60.5 %
中学生 n=228	6.1 %	4.8 %	3.1 %	0.0 %	0.4 %	1.8 %	3.9 %	1.3 %	11.0 %	11.8 %	14.5 %	4.4 %	7.5 %	5.7 %	5.3 %	81.6 %



問5 市長にお願いしたいことや伝えたいこと

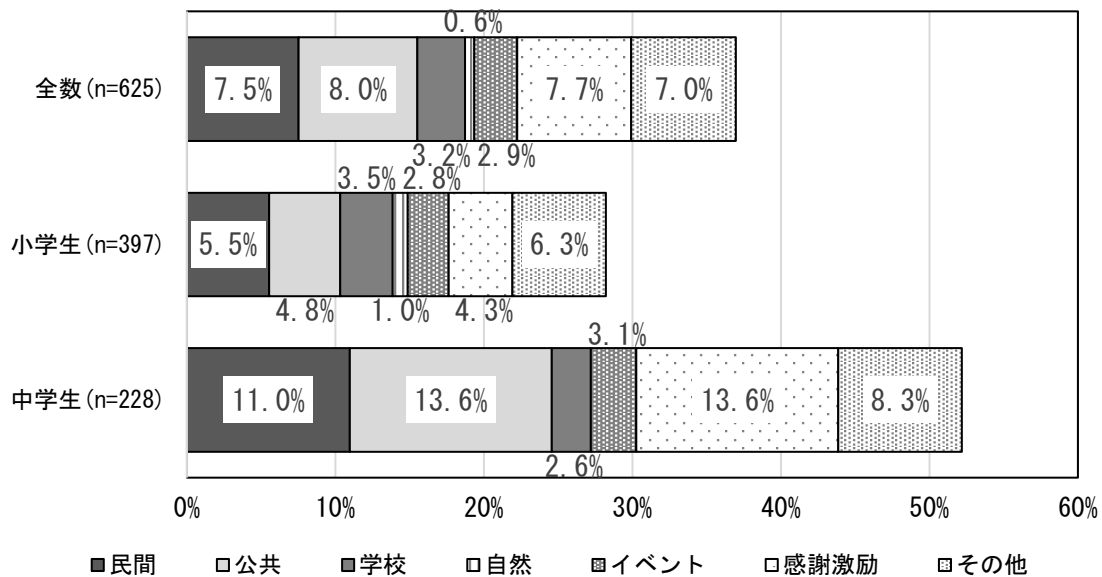
【全体・小中比較】

全体でみると、スポーツ施設や公園等の「公共」に関するものが8.0%、次いで「感謝激励」が7.7%、商業施設の設置など「民間」に関する内容が7.5%と続いている。

小中別では、小学生は、全体として平均と差がないか下回っており、「その他」が6.3%と多様な意見が多く、続いて「民間」が5.5%、「公共」が4.8%、「感謝激励」が4.3%と続いている。

中学生は、多くの項目で平均を上回っている。なお、項目別の回答では、災害時のファーストミッションボックス、テニスやバスケットボールなどスポーツコートの設置に関する「公共」と「感謝激励」が13.6%、「民間」が11.0%と続く結果となった。

「その他」として今のままでいいという意見や市の知名度向上を求める声が多くみられる。



1. 7 調査結果の活用

当調査の結果は、貴重な子どもたちの意見であるため、1.1 調査目的にあるように庁内で電子掲示板などを利用して個人を特定できない状態で情報共有し、今後の市政の基礎資料とさせていただきます。

Ⅲ 資料

調査票（フォーム回答のため体裁を変更しています）

飛騨市子ども世論調査

飛騨市のこと、自分が住んでいる町のことについて、みんなの気持ちを教えてください。
誰が書いたかわからないようにしますので、なんでも書いてね。

問1 あなたは、自分が住んでいる町（古川町・河合町・宮川町・神岡町）が好きですか。つぎの中からひとつ選んでください。

- 1 大好き
- 2 好き
- 3 どっちでもない
- 4 きらい
- 5 大きらい

問2 自分が住んでいる町の好きなところ、きらいなところがあれば書いてください。
（無かったら書かなくていいです）

問3 自分が住んでいる町が「こうなったら良いなあ」とか「これがあるとうれしいなあ」ということがあれば自由に書いてください。
（無かったら書かなくていいです）

問4 学校で「こうなったら良いなあ」とか「これがあるとうれしいなあ」ということがあれば自由に書いてください。
（無かったら書かなくていいです）

問5 飛騨市の市長さんにお願いしたいことや伝えたいことはありますか。
（無かったら書かなくていいです）

ここからはあなた自身のことについて教えてください

問6 あなたの学年を教えてください

- 1 小学4年生
- 2 小学5年生
- 3 小学6年生
- 4 中学1年生
- 5 中学2年生
- 6 中学3年生

問7 あなたの学校を教えてください

- 1 古川中学校
- 2 神岡中学校
- 3 山之村小中学校
- 4 古川小学校
- 5 古川西小学校
- 6 河合小学校
- 7 宮川小学校
- 8 神岡小学校